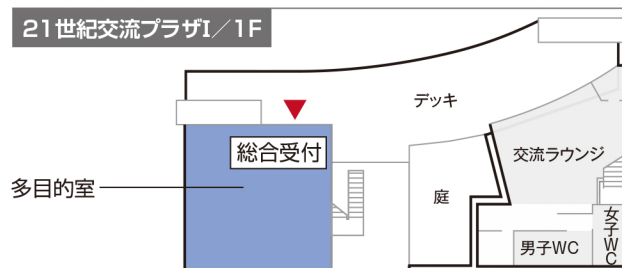
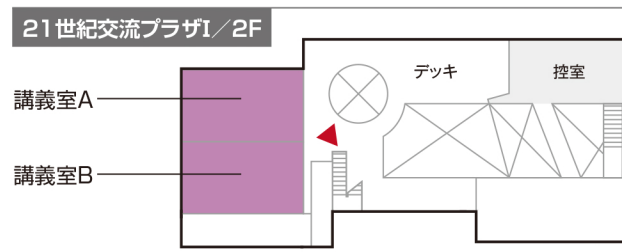
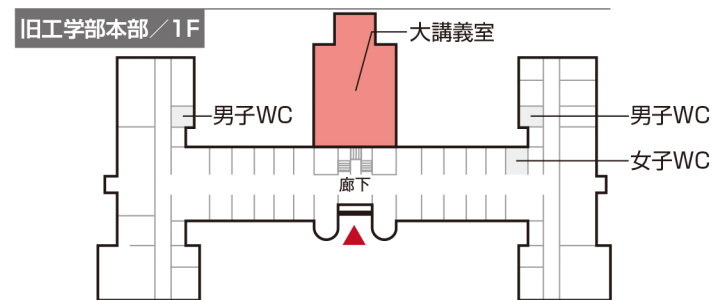
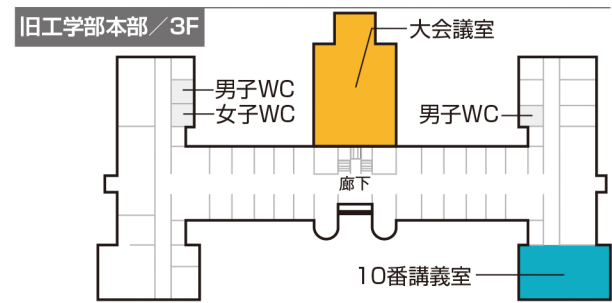


Time Table

9/8 SAT	21世紀プラザ			旧工学部本館			本部第1庁舎
	1階/多目的室	2階/講義室A	2階/講義室B	1階/大講義室	3階/10番講義室	3階/大会議室	2階/第1会議室
13:00		0	0	開会式/特別表彰			
14:00		パネル展示	パネル展示	基調講演			
15:00				パネルディスカッション			
16:00		プレゼンタイム	プレゼンタイム	1 点在する歴史文化遺産をまちづくりに活かす	2 ejob事業はこれからの都市計画に貢献するの?	3 日韓まちづくりフォーラム	4 「暮らしかた」から考える地域の再生
17:00							
18:00							
19:00	交流会						
20:00							
9/9 SUN	21世紀プラザ			旧工学部本館			本部第1庁舎
	1階/多目的室	2階/講義室A	2階/講義室B	1階/大講義室	3階/10番講義室	3階/大会議室	2階/第1会議室
10:00	9 まちビトーク	0	0	5 福岡の都市デザインをレビューする	6 都市農地を活かすまちづくりの展望	7 観光からはじまる景観づくり	8 花と緑のまちづくり推進フォーラム
11:00		パネル展示	パネル展示				
12:00							
13:00							
14:00	13 熊本地震と九州北部豪雨から考える地区レベルの復興			10 交通とまちづくり	11 エリマネ組織のネットワークを考える	12 人が集まる場所のつくり方	
15:00					14 プランナーの職能とAI		
16:00							
17:15				閉会式			
30							
9/10 MON	エクスカージョン						
9:30~11:30	新しい大学像を展望するー九州大学伊都キャンパスツアー(現地集合です。)						

会場案内図



づくり く り 会 議

全国まちづくり会議2018in福岡 2018.9.8 SAT » 9 SUN, 10 MON EXCURSION 期間:2018年9月8日[土]~9日[日],10日[月]エクスカージョン 会場:福岡市東区箱崎6-10-1九州大学箱崎キャンパス

2018年9月8日(土)~9日(日)
 ◆基調講演 藤浩志(アーティスト、糸島在住、十和田市現代美術館館長を経て秋田公立美術大学大学院複合芸術研究科・アート&ルーツ専攻教授・副学長)
 ◆ディスカッション ◆特別表彰 ◆パネル展示
 9月8日(土)18時 ◆懇親会(九州大学箱崎キャンパス)
 9月10日(月) ◆エクスカージョン
 主催:認定NPO日本都市計画家協会
 共催:九州大学(伊都キャンパス完成記念行事)
 後援:国土交通省九州地方整備局、福岡県、福岡市、西日本新聞社(予定)
 協賛:九州電力(株)、西部ガス(株)、積水ハウス(株)福岡マンション事業部、三菱地所(株)、(株)JPRリンクージ、九州旅客鉄道(株)、西日本鉄道(株)、(株)日建設計、(株)日本設計、(株)アルテップ(株)エックス都市研究所、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)よかネット、(株)安井建築設計事務所(株)久米設計(株)梓設計(株)醇建築まちづくり研究所、(株)福山コンサルタント(株)大林組、鹿島建設(株)、清水建設(株)、(株)竹中工務店

会場
九州大学
箱崎キャンパス

人と時のつながりが紡ぐ「まちの個性」
関係が生まれる時空のデザイン

全 国 ま ち

開会式 人と時のつながりが紡ぐ「まちの個性」

～関係が生まれる時空のデザイン～

旧工学部本館1階大講義室／9月8日(土)13:00～13:15

開会挨拶 **小林英嗣** (日本都市計画家協会会長)来賓挨拶 **久保千春氏** (九州大学総長)来賓挨拶 **中園政直氏** (福岡市副市長)

まちづくりで大切にしたいことは、人のつながり(交流、交易、ネットワーク、ソーシャルキャピタル、信頼)と時のつながり(歴史の継承、場の記憶、場所性の解読、時間とともに育つ環境)、そして人と時のつながりがつくりだす「まちの個性」です。大陸に近く、古代より海外との交流・交易が盛んであり、時間をかけてまちを形成してきた九州・福岡の地、伊都への移転を完成する九州大学箱崎キャンパスに、全国のまちづくり活動をしている人々が集い、それぞれの抱える課題について情報交換しネットワークを広げます。住民、企業、行政などの立場の違いを超えて、まちの強靱性、発展と縮退のデザイン、QOLとサステイナビリティなど、過去、現在、未来にわたって人と時のつながりが紡ぐ「まちの個性」をテーマに、話題を持ち寄り多角的に意見を交換します。

日本都市計画家協会賞表彰

全国まちづくり会議 福岡大会特別賞

森田一義氏 (当日、ビデオレター放映)

旧工学部本館1階大講義室／9月8日(土)13:15～13:30

都市や地域を読み解くことの面白さを広く一般に知らしめる活動を高く評価するものです。全国各地の地形、歴史、ものがたりなど、それまで知られていなかったことを含めて、専門家を交えてわかりやすく説明し、全国各地の都市の理解を深めることに貢献していることから、最もふさわしい人物として特別賞を贈ります。

基調講演／パネルディスカッション

旧工学部本館1階大講義室
9月8日(土)13:30～15:15基調講演及びパネリスト
藤浩志

(アーティスト／秋田公立美術大学)

パネリスト
臂徹

(キャッセン大船渡)

パネリスト
榎本拓真

(福岡地域戦略推進協議会)

進行
福田忠昭

(LOCAL&DESIGN(株))



基調講演では、福岡県糸島市在住であり、全国・海外で活躍しているアーティストである藤浩志氏をお招きします。藤氏は地域の人やモノ、場をつないで様々な「活動」を生み出し、さらにその活動が継承されるための「仕組み」を考えられています。テーマは多様であり、廃棄物のビニール・プラスチック類を用いたり、防災を切口としたり、「灯明」のようなインスタレーションもあり、これらのアート活動自身がまちづくりそのもののようです。藤氏の活動を通じて、これからの新たな都市計画やまちづくりのあり方を問い直すことができるのではないかと考えています。

パネルディスカッションでは、藤氏に加え、東北で東日本大震災の復興などに携われている臂徹氏と、地元、福岡地域戦略推進協議会より榎本拓真氏をお招きし、非常に元気なまちとして注目を浴びている福岡市を話題にして、今後大きく変わる人口構成やシェアリングエコノミーなどにどのように対応していくのかについて、手掛かりを見出せればと思います。

1 点在する歴史文化遺産をまちづくりに活かす

旧工学部本館1階大講義室
9月8日(土)15:30～17:30

歴史文化遺産が点在して残っているマチは全国に多くあります。例えば、箱崎は宮崎宮を擁し社家町・宿場町・漁師町が織りなす歴史的なマチで、その遺産は点在して残る状況です。本フォーラムでは、歴史文化遺産が重要伝統的建造物群保存地区のように連続せず点在して残っているマチに眼差しを向け、先進的な事例に学びながら、歴史文化遺産の保存と活用のあり方、そして歴史まちづくりへの展開方法について考えます。

田村邦明 (宮崎宮権宮司)
田上稔 (福岡県教育庁文化財保護課)
城戸康利 (太宰府市教育委員会文化財課)
北島力 (NPOまちづくりネット八女)
大塚政徳 (まちなみネットワーク福岡)
菊地成朋 (九州大学)
箕浦永子 (九州大学)

2 ejob事業はこれからの都市計画に貢献するか?

旧工学部本館3階10番講義室／9月8日(土)15:30～17:30

徳田剛一 (株)まちかん設計) 箱崎斉 (第一復建(株)) 安藤裕之 (相模原市)
池田準哉 (株)都市環境研究所) 両角光男 (熊本大学) 中野信吾
西口徹 (株)オオバ) 趙世晨 (九州大学) パシフィックコンサルタンツ(株))
内田智昭 (株)福山コンサルタント) 大西信也 (福岡市)
田川英一郎 (日本都市技術(株)) 内藤隆 (北九州市)

都市計画4団体(学会、都市計画協会、コンサルタント協会、家協会)の共同事業として、コンサルの業務実績を自治体に評価してもらい、優良とされた業務を公開してデータベース化するejob事業は、試行期間の2年を経て本格実施2年目となっています。当初の目的だった発注側の自治体にコンサル情報を提供することに加えて、蓄積されたデータを活用するなどして、都市計画業務の現状とこれからを考える手がかりとできるかを議論します。

0 パネル展示／プレゼンタイム

21世紀プラザ2階講義室A/B
9月8日(土)13:00～18:00／9日(日)10:00～15:00

日頃、まちづくりやくらしづくりなどに取り組んでいる団体・企業の活動紹介パネルを展示します。会期中は常時(9日15時まで)見ることができます。シンポジウムやフォーラムの合間に、ぜひお立ち寄りください。

8日15時15分から参加団体・企業によるプレゼンタイム(意見交換会)を行います。見学・飛び入り参加も大歓迎です。

5 福岡の都市デザインをレビューする

旧工学部本館1階大講義室
9月9日(日)10:00～12:00梅本正紀 (元・環境開発研究所)
川端亙 (日建設計九州オフィス)
柴田久 (福岡大学)
榎本拓真 (Local Knowledge Platform、福岡地域戦略推進協議会)
牧敦司 (日本都市計画家協会、(株)醇建築まちづくり研究所)
尾辻信宣 (合同会社G計画デザイン研究所)

日本で最も元気のいい地方都市として注目される福岡。博多駅リニューアル、KITTE博多など拠点開発が進む博多駅周辺。続いて天神地区では福ビル再開発・大名小跡地開発、ウォーターフロント地区開発などビックプロジェクトが目白押しです。アジアのリーダー都市を標榜し邁進する福岡の都市デザインについて、過去を振り返り、現在の姿を映しながら、来るべき未来の姿について、実務担当者やキーマンから話題を提供していただき考察します。

6 都市農地を活かすまちづくりの展望

旧工学部本館3階10番講義室
9月9日(日)10:00～12:00水口俊典 (生産緑地研究会座長)
柴田祐 (熊本県立大学)
佐藤啓二 (都市農地活用支援センター)
小谷俊哉 (都市農地活用支援センター)

「都市農業振興基本法」(2015)の成立により、都市部の農地が「宅地化するべきもの」から「あるべきもの」へと転換し、特定生産緑地制度や田圃住居地域が創設(2017)されました。2018年9月には「貸借の円滑化法」の施行が見込まれています。こうした新しい都市農地制度の活用可能性とその課題について紹介するとともに、三大都市圏特定市に留まらない地方都市も含めた今後の都市農地制度のあり方を展望します。

7 観光からはじまる景観づくり

旧工学部本館3階大会議室
9月9日(日)10:00～12:00高山美佳 (LOCAL&DESIGN(株))
吉中美保子 (西日本鉄道(株))
内田晃 (北九州市立大学)
高尾忠志 (九州大学)

観光振興の施策が、短期的なITやSNSなどを活用した情報発信(動画の配信等)やプランニング等の「ソフト施策」に偏りがちな気がします。本来、大切な観光資源は、地域の「歴史」や「景観」、「環境」とつながり、総合的に育てられていくものと思います。このフォーラムでは、市民や企業、大学など多様なセクターが関わりながら取り組む観光からの景観や空間づくりの視点や施策を考えてみたいと思います。

8 花と緑のまちづくり推進フォーラム

本部第1庁舎2階第1会議室
9月9日(日)10:00～12:30桂川孝裕 (亀岡市長)
久住時男 (見附市長)
八木波奈子 (ビズ編集局)
きむらみえこ (美しいまちづくり研究会)
井上忠住 (日本都市計画家協会)
石井康子 (ガーデンを考える会)

市民主体のまちづくりの効果的なアプローチである「花と緑のまちづくり」をより円滑・持続的に推進するため関係者が一堂に会してあるべき姿を議論します。花や緑を活用した(1)観光と景観(2)環境・情操・食育・アクティブラーニング等教育支援(3)地域振興(4)職場環境への花緑の導入(働き方改革等)(5)環境保全(生物多様性)等多様な分野のまちづくりに関わる政策横断的な「花と緑のまちづくり推進」の結集を提言します。分科会として福岡クロスネクスト(13:30～15:00)を開催します。

9 まちビトトーク福岡の地域性が育む「まちビド」とは

21世紀交流プラザ1階多目的ホール
9月9日(日)10:00～12:00下野弘樹 (ON THE STAGE)
たいら由以子 (特定非営利活動法人循環生活研究所)
片田江由佳 (福岡ピクニッククラブ)
三谷蘭子 (日本都市計画家協会、Groove Designs)

「自己流の活動がまちに影響を与えた人＝まちビド」と定義し、従来の都市計画やまちづくりの枠だけでは捉えられない新しいまちづくりの基点(＝まちビド)について、参加者との対話型でその姿を捉えています。地方初開催のまちビトトークでは、福岡ならではの「まちビド」を迎え、福岡独自の「まちビド」像を考えていきます。

15 エクスカーション

新しい大学像を展望するー九州大学伊都キャンパスツアー

9月10日(月)9:30～11:30

坂井猛 (日本都市計画家協会、九州大学)
山王孝尚 (九州大学)

10 交通とまちづくりー福岡市の交通と都市の姿130年ー

旧工学部本館1階大講義室
9月9日(日)13:00～15:00辰巳浩 (福岡大学)
梶田佳孝 (東海大学)
大井尚司 (大分大学)
中村宏 (株)福山コンサルタント)

成長著しい福岡市には過去、現在、将来にわたって様々な交通課題が横たわっており、その内容も都市部、郊外部、過疎地といった地域的なもの、通勤交通、観光交通等時間的なもの等多岐にわたっています。ここでは各パネラーの専門的知見を交え、その課題認識、解決方法および他地域に共通する今後の交通の在り方等について議論を進めます。

11 エリマネ組織のネットワークを考える

旧工学部本館3階10番講義室
9月9日(日)13:00～15:00小林誠 (We Love天神協議会)
谷川麻祐子 (博多まちづくり推進協議会)
高園英太郎 (福岡市)
松原卓也 (札幌市)
長谷川隆三 (株)フロントヤード)

エリマネジメントは、エリアごとに多様な活動、組織構成となっているが、その多くで人的、資金的な活動基盤がせい弱な状況にあると言えます。エリマネジメントの活動基盤の強化に向けては、行政との連携が欠かせないものとなるが、その在り方もまた多様です。今回は福岡のエリマネジメントの経験をベースとしつつ、札幌の事例も理解しながら、課題を共有し、今後の行政とエリマネジメント組織の係り方について議論します。

12 人が集まる場所のつくり方

旧工学部本館3階大会議室
9月9日(日)13:00～16:00泉英明 ((有)ハートビートプラン)
木藤亮太 ((株)油津応援団、(株)ホーホウ)
臂徹 ((株)キャッセン大船渡)
三谷蘭子 (日本都市計画家協会、Groove Designs)
片田江由佳 (福岡ピクニッククラブ)
富永ボンド (ボンドアート)
渡会清治 (日本都市計画家協会)

街なかに人が集まらない、賑わいが失われた、多くの都市・地域でそうした問題が指摘されるようになって久しい。一方で従来のやり方とは異なる方法論で、果敢にこうした課題にチャレンジし、新たなにぎわいの場、コミュニティの場をつくる試みが行われています。今回は、こうした賑わいの場づくりを現場で試行しつつ実践しているプレイヤーに集まっていただき、「人が集まる場」について語り、その「作り方・プロセス・仕組み」についての熱い意見交換を行います。

13 熊本地震と九州北部豪雨から考える地区レベルの復興

21世紀交流プラザ1階多目的ホール
9月9日(日)13:00～15:00宮田有佳 (熊本県益城町役場復興整備課)
古荘直樹 (熊本県益城町樺島地区まちづくり協議会会長)
梅田功 (朝倉市復興推進室室長)
師岡知弘 (福岡県朝倉市倉落支援員)
加藤孝明 (東京大学)
柴田祐 (熊本県立大学)

地区スケールの復興では、住民同士で話し合いを重ねる必要がありますが、住民自身が被災者であり、さらに高齢化、人口減少、コミュニティの維持など被災以前から抱える課題は被災により深刻になります。熊本地震と九州北部豪雨を対象として、地区スケールの復興における課題について、異なる災害から構造的な共通点をあぶり出しながら、異なる点は異なる点として理解を深め、地区としての復興のあり方について検討します。

14 プランナーの職能とAI(街づくりAI研究会)

旧工学部本館3階10番講義室
9月9日(日)15:00～17:00守真弓 (NPO高度情報通信都市計画シンクタンク会議)
小泉秀樹 (日本都市計画家協会、東京大学)
江井仙住 (日本都市計画家協会、アビームコンサルタント)
守茂昭 (日本都市計画家協会、都市防災研究所)

AIの目覚ましい進展を紹介しつつ、多くのジャンルでAI化が急ピッチに進む中、街づくりコンサルタントの世界に登場するAIは、積極的に採用すべきものと、採用に慎重になるべきものとが混在していることを示します。一般には便利な道具としてしか目に映らないAIに、なぜ危険視すべき要素も隠される場合があるのか? プランナーとは、技術の進展についてのそういった負の側面を認識し、警告できることも大切な職能であることを来場者に訴えることが必要です。

9時30分に九州大学伊都キャンパス・ビッグオレンジ(福岡市西区元岡744、設計:石田壽一)に集合、大学改革の新舞台を設定したキャンパス・マスタープラン(九州大学+三菱地所・シーザーペリ+三島設計共同、センター地区:九州大学+黒川紀章・日本設計)等を概説し、椎木講堂(設計:内藤廣)、中央図書館(設計:石本建築事務所)、イースト1号館(設計:石本元建築事務所)、ゲートブリッジセンター2号館(設計:黒川紀章・日本設計)、ウエスト1号館(設計:ペリクラークペリ)等を解説しながらまわります。